

1. 業績の見通し

本年4月24日に申請した電気料金の値上げについては、現在、国において審査が行われております。また、泊発電所については、7月8日に原子力規制委員会に対して新規規制基準への適合性確認審査に係る申請を行い、現在、審査が行われており、発電再開時期を明確に見通すことが難しい状況にあります。

このため、現時点において電灯・電力収入や火力発電所の燃料焚き増しに係る費用を想定できないことから、連結・単独ともに、売上高、営業損益、経常損益、当期純損益を引き続き未定といたします。

今後、業績を見通すことが可能となり次第、速やかにお知らせいたします。

販売電力量は、産業用での生産減などが見られましたが、今後の推移を見極める必要があることから、平成25年4月に公表した見通し（対前期伸び率1.5%程度の316億kWh程度）を据え置いております。

配当金につきましては、中間配当は現状の財務状況を踏まえ無配、期末配当は業績を見通すことができないことから未定とする配当予想に変更はありません。